

大規模な震災後に生活再建するためには

自宅の再建にかかる費用の内訳



撤去費と解体費

引っ越し費用

建替え工事費と諸経費

廃棄物の処分費

家財の買替え

仮住まいの敷金・礼金

建物が無くなっててもローンは消えない

写真は平成19年新潟中越地震、消防科学総合センターより

プラス
既存の建物の住宅ローン

生活再建に向けての必要な費用は？

(東日本大震災被災者からの聞き取り調査によるもので、あくまでも目安です)

生活に必要な経費

※当面の生活が確保できた時期までにかかった経費

「**200万円**以上の支出」が最も多い

住宅再建経費

※住宅の建設・購入・賃借の経費

全壊・大規模半壊・半壊ともに**2,000万円**以上が最も多い

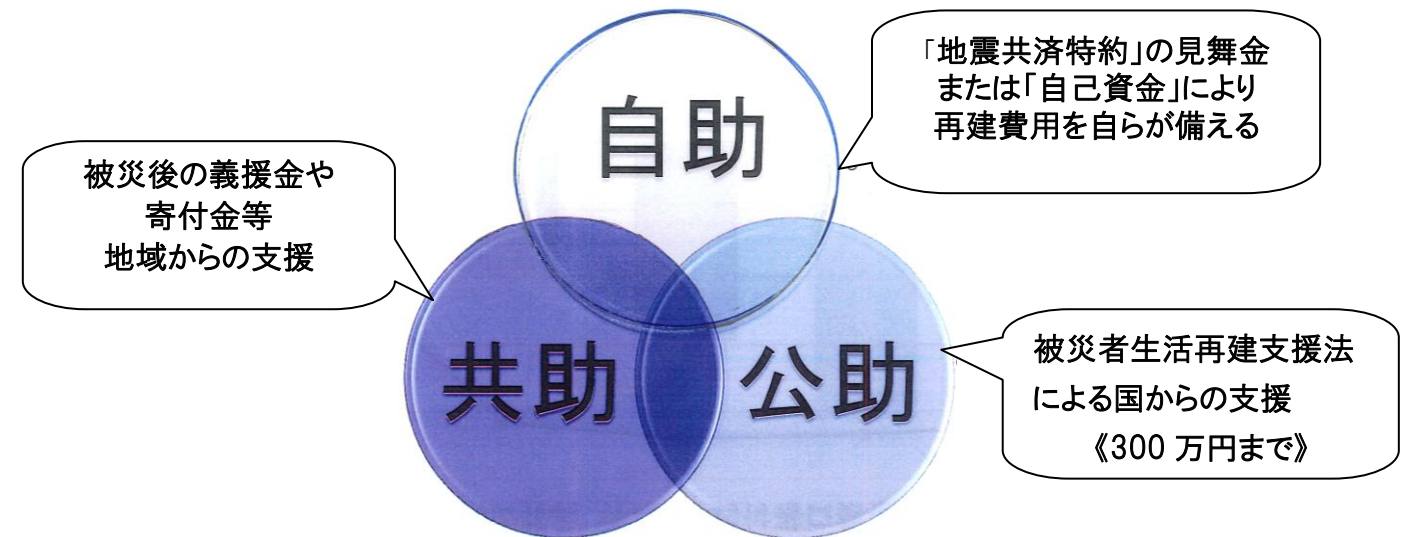
家財(衣類・寝具・食器類・書籍・電化製品・家具)の買い替え費用

※4人家族(夫35歳・妻30歳・長男小学生・長女小学生)なら合計**1,667万円**

夫(316万円)妻(502万円)長男(95万円)長女(145万円) 家族共通の家財・家具・什器備品類(335万円)
台所用品(98万円)趣味・娯楽用品(108万円)客用寝具その他(68万円)

危機管理研究所より

生活再建のための資金は？



- 国からの支援・「公助」は限度があり、再建のためにはこれだけでは足りない！
- 義援金・寄付金や地域からの支援「共助」は、手元に入るまでに時間がかかる！
- 災害からの早期復旧には「自助」の充実を！

いざという時のために「地震共済特約」をお勧めします

全米販 火災共済「地震共済特約」のあらまし

- ・加入方法・・・火災共済の契約(基本契約)に付帯しての加入
- ・加入物件・・・建物・家具什器に限定・純住宅のほか営業物件(店舗、倉庫など)
- ・加入限度額・・・建物・家具什器とも、基本契約額の50%以内
- ・共済費(掛金)・・・火災共済の構造別単価に準じます。(全国一律)
- ・補償対象・・・地震(噴火・津波を含む)による損害(焼失・倒壊・流失)
- ・見舞金・・・全損または半損の場合にお支払い

※詳しくは、共済加入窓口にお問い合わせください。